

第24回エコクリティシズム研究会(2011年夏季)

日時：2011年8月8日(月) 9:50-18:00

場所：広島大学東千田キャンパス403 <http://www.hiroshima-u.ac.jp>

総合司会 真野 剛(広島国際学院大学)

9:50 開会の辞 伊藤詔子(松山大学)

研究発表 10時-11時

司会：横田由理

1. 岸野英美(松江工業高専)「マスモト作品に描かれる低い位置から見える世界」

2. Taras Sak(安田女子大学)

“Journey Through a Ruined Garden: McCarthy's *THE ROAD* and Eco-Apocalypse”

ワークショップ 11時10分-12時40分

“*Teaching North American Environmental Literature*
(Laird Christensen, Mark C. Long, and Fred Waage 編, 2008)をめぐる”

司会・担当：大野美砂(東京海洋大学)

担当：浅井千晶(千里金蘭大学) / 辻 祥子(松山大学)

中垣恒太郎(大東文化大学) / 藤本幸伸(山口大学)

昼食 12時40分-13時30分

シンポジウム 13時30分-15時30分

「エスニシティとエコクリティシズム——現代エスニック・アメリカ文学を読む」

司会：吉田美津(松山大学)

講師：三重野佳子(別府大学)「ユダヤ系作家と自然」

水野敦子(山陽女子短期大学)「チカーノの自然観とマジカルリアリズム」

松永京子(神戸市外国語大学)「先住民文学と(ポスト)コロニアリズム——

シャーマン・アレクシーの詩と核の言説」

吉田美津 「強制収容と日系移民の文芸——俳句を中心に」

特別講演 15時50分-16時50分

「日系カナダ人作家 Hiromi Goto の描く水」

講師：桧原美恵先生(京都女子大学)

司会：伊藤詔子

総会 16時50分-17時40分

閉会の辞 吉田美津